

基本的方向性	1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現					
施策名	1 水質の管理・監視の徹底					
取りまとめ部・課	浄水部施設課					
事業内容 (担当課)	<p>①仙台市独自の水質目標に基づく水質管理（担当課：水質管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で良質な水道水をお客さまにお届けするため、給水栓に対して国が定める水質基準値よりも厳しい仙台市独自の水質目標として、2-メチルイソボルネオールや総トリハロメタンなど7項目に関し目標値を設定し、水源水質から浄水場における適切な浄水処理、配水所を経てお客さまの蛇口に至るまで、総合的な水質管理を徹底します。 ・水質検査のデータを分析することにより、仙台市独自の水質目標における課題を整理し、お客さまのニーズや必要となる施設整備費等を踏まえ、目標値の修正や項目追加等の見直しを行います。 <p>②関係者との連携による水源保全（営業課・施設課・国見浄水課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜の都の風土を守る土地利用調整条例の制度などを利用し、水源を汚染・汚濁する可能性のある開発行為の抑制に取り組んでいきます。 ・青下ダムについて、協力企業と連携して水源保全に取り組む「青下の杜プロジェクト」を推進しながら、「青下水源涵養林保育計画」により保育管理を行っていきます。 ・保育計画は、年次計画を適宜見直しを行い、保育管理を行っていきます。 ・お客さまと水道局職員並びに関連団体において協働で行うダム周辺部の清掃活動を通じ、水源保全の意識を高める活動を実施しています。 <p>③水安全計画の推進（担当課：水質管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な水道水の提供のために、水源から蛇口に至るまでの様々なリスクに対する管理、対応を定めた「水安全管理対応マニュアル」（水安全計画）の運用や継続的な見直しを行い、水質の変化や異常に迅速に対応できるように水質管理体制の強化に努めます。 					
令和2～6年度 スケジュール	年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	①仙台市独自の水質目標に基づく水質管理	目標値修正等の課題整理		仙台市独自の水質目標の検証		
		水質データ分析	お客さまニーズの把握			
	②関係者との連携による水源保全	杜の都の風土を守る土地利用調整条例の制度などを利用した水源保全				
	青下水源涵養林保全計画による下草刈り、間伐の実施					
	青下ダム周辺などの清掃活動					
③水安全計画の推進	水安全管理対応マニュアルを運用し、見直しを随時実施					
	①の水質目標の検証に伴い必要な見直しを実施					
令和2年度 事業内容	①仙台市独自の水質目標に基づく水質管理	過去の水質データの分析と評価 目標値修正等の課題整理				
	②関係者との連携による水源保全	<p>通 年 杜の都の風土を守る土地利用調整条例の制度などを利用し、水源を汚染・汚濁する可能性のある開発行為の抑制に取り組んでいきます</p> <p>通 年 青下の杜プロジェクトを推進していきます（施策9-1参照）</p> <p>10～3月 青下ダム上流部及び周辺部の樹木生育状況を確認し、必要な間伐及び下刈りを行います</p> <p>7～11月 青下ダムなどの清掃活動を行います （実施時期については、各種協議会等にて日程が通知される）</p>				
	③水安全計画の推進	水安全管理対応マニュアルを運用 2月に水安全管理対応マニュアル検証見直し検討会を開催				

○施策の実績評価（令和2年度）

ア、各事業の達成状況			
事業名	事業内容	実施内容	達成度
①仙台市独自の 水質目標に基づく水質管理	目標値修正等の課題整理	お客様のニーズの整理	○
	事業の進捗状況について、 ・数値目標がある場合 ○（80%以上）、△（80%未満）、×（未着手）で評価する。 ・数値目標がない場合は、 予定していた事業の達成状況から、 ○（ほぼ予定通り達成）、△（一部達成）、×（未着手）で評価する。		△
②関係者との連携による 水源保全	釜房ダム、青下ダム、大倉ダム、 七ヶ宿ダム周辺の清掃活動	コロナウイルスの影響により、 全ての清掃活動の見送り	×
	釜房ダム貯水池湖沼 水質保全計画の検討	水質保全計画策定に向けた 県との協議を実施	○
③水安全計画の推進	水安全管理対応マニュアルを運用	過去に発生した〇〇を踏まえた マニュアルの改訂を実施	○

イ、各事業の現状や課題

事業名	現状や課題
①仙台市独自の 水質目標に基づく水質管理	前回のお客様アンケートでは、本市の水道に多くのお客様が満足していただいている結果となっているが、一方で施設の老朽化による水質の劣化や、ダムや河川など水源汚染に不安を感じているお客様もいるため、どの様にPRすれば水道を安全に感じていただけるかについて、広報の在り方にも関連しながら、お客様のニーズを整理していく必要がある。
②関係者との連携による 水源保全	コロナウイルスの影響により、人が集まるイベント等を中心に活動自粛を余儀なくされたことから、活動自粛が要請された場合においても、継続的に実施できる取組みや、新たな水源保全の取組み等について検討する。
③水安全計画の推進	事業の達成状況や現状を踏まえ、今後の取組みを具体化するために、 取組内容と実施結果との因果関係を分析し記載する。

ウ、施策の今後の取組について

令和2年度 達成状況	A：達成又は概ね達成	B：一部達成	C：未達成
今後の 取組み	I：継続	II：改善	III：施策の見直し
	【今後の取組みについて】 安全安心な水道水を引き続き提供していくため、水質検査のデータ分析を行うほか、お客様のニーズを把握し、仙台市独自の水質目標の検証を行う。 施策の今後の方向性の区分を以下から選択し、 「I：継続」：順調に進捗しており、今後も継続的に取組む。 「II：改善」：現状や課題を踏まえ、改善し取組む。 「III：施策の見直し」：事業環境の変化等により、施策の見直しが必要。 具体内容を記載する。		